

会計名			文化協会育成事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		課等長名	渡部 高幸
10	5	1		作成者	西川 瑛輔

PLAN概要 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	文化・芸術			
		施策の内容	活動の支援体制の充実			
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属している刈谷文化協会の育成や刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を通して、文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。	主たる内容	市民文化祭などを主催する刈谷文化協会への補助金の交付や「わたしの刈谷展」への助成を行う。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令				
		対象者	刈谷文化協会	事業期間	～	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
B D O 実績	成果 (できたこと)	・刈谷文化協会へ団体補助 ・刈谷100景展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 ・愛知県民茶会（刈谷）に補助 【文化協会への加盟状況】 5部門37部会2,497人	・刈谷文化協会へ団体補助 ・刈谷100景展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 【文化協会への加盟状況】 5部門37部会2,507人	・刈谷文化協会へ団体補助 ・わたしの刈谷展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用 ・協会創立35周年事業への補助 【文化協会への加盟状況】 5部門37部会2,464人	・刈谷文化協会へ団体補助 ・わたしの刈谷展受賞作品の報償金 ・文化振興指導員他の臨時職員雇用	
	課題 (できなかったこと)	協会自体の課題としては、会員数が横ばい傾向であるので、新規会員の獲得への若年層への訴求を高める必要がある。				
	指標名称（単位）	実績値		目標値		
		21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	団体会員数（人）	2,497	2,507	2,464	2,500	2,500
成果指標						
他市との比較検証	安城市 文化協会会員数 H23 約2,000人／市人口 約18万人 知立市 文化協会会員数 H23 約2,000人／市人口 約7万人 刈谷市 文化協会会員数 H23 2,464人／市人口 14万5千人					

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
C 事業 コスト	事業費 ①	9,678	5,709	5,968	5,698	合計	5,968,142 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	3,418,142 円
		一般財源	9,678	5,709	5,968	5,698	報償費	200,000 円
		職員人件費 ②	0	2,537	431	450	負担金、補助及び 交付金	2,350,000 円
	総事業費 (①+②)	9,678	8,246	6,399	6,148			
建設 事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称				
	23年度迄の累積事業費		0					
	25年度以降の事業費見込		0					

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	1					作成者	長澤 慎二		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷市の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備をし、活用する。	主たる内容	○刈谷に関わるすべての関係資料（市外を含む）の調査を行う。 ○資料の整理を行い、資料目録を作成する。 ○資料のマイクロ化を行う。 ○市史だよりを発行する。 ○庁内外の問い合わせに対応する。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令		文化財保護法、公文書館法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成7年度 ~					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料調査の実施</li> <li>資料整理の実施</li> <li>新聞データの整理</li> <li>市史だよりの発行</li> </ul>		
成果 (できたこと)		資料調査によって、新しく発見した資料を整理することができた。整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用することができた。新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。								
課題 (できなかったこと)		資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分でなかった。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標		調査回数（回）		3	5	9	5	5		
成果指標		調査・整理資料点数（点）		1,898	1,787	683	1,000	1,000		
他市との比較検証		名古屋市・安城市において同様の事業が行われている。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		5,163	4,868	4,921	5,203	合計	4,920,821 円		
	財源	特定財源	77	69	327	124	賃金	1,639,570 円		
		一般財源	5,086	4,799	4,594	5,079	旅費	71,890 円		
	職員人件費 ②		0	1,812	1,507	1,498	需用費	2,854,523 円		
	総事業費 (①+②)		5,163	6,680	6,428	6,701	役務費	75,245 円		
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入						
25年度以降の事業費見込		0								
						委託料	147,000 円			
						使用料及び賃借料	125,993 円			
						負担金、補助及び交付金	6,600 円			

会計名			音楽振興活動補助事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		課等長名	渡部 高幸
10	5	1		作成者	西川 瑛輔

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	文化・芸術			
		施策の内容	活動の支援体制の充実			
	目的	本市は刈谷市文化振興基本計画で特色として「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図る。	主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）などへ開催支援する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令				
		対象者	刈谷音楽協会	事業期間	平成18年度～	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

B 事業実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
	・6月14日 第5回刈谷音楽祭 ・12月20日 第4回刈谷音楽協会演奏会		・12月5日 第6回刈谷音楽祭		・6月12日 第7回刈谷音楽祭「煌くピアノの饗宴」 ・12月11日 第6回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・6月24日 第8回刈谷音楽祭刈谷市民管弦楽団 第27回定期演奏会 ・12月 第7回刈谷音楽協会演奏会（予定）		
	成果 (できたこと)	近年、補助金額が低額ですむようになっている。年々安定した入場者を集めており、協会が安定した運営をしていると考えられる。							
	課題 (できなかったこと)	現在はホールでの演奏会が主な活動となっている。刈谷の音楽文化の振興を図るためにも、まちなかコンサートなど市民が気軽に参加しやすい活動を今後促していく必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標	協会会員数（人）		67	67	64	70	70		
成果指標									
他市との比較検証	現在、近隣市において、演奏者の協会があるのは岡崎市・安城市のみである。確認したところ、両市とも活動に対する支援等は行っていないとのこと。								

C 事業コスト	単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①	800	592	263	800	合計	263,156 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金	263,156 円
		一般財源	800	592	263	800		
		職員人件費 ②	0	725	431	450		
		総事業費 (①+②)	800	1,317	694	1,250		
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
23年度迄の累積事業費		0						
25年度以降の事業費見込		0						

会計名			古文書マイクロフィルム化委託事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	1					作成者	長澤 慎二		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	古文書の保存と活用を行う。	主たる内容	○古文書のマイクロ撮影を行った後、紙焼きをし、閲覧できるようにする。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	公文書館法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成21年度 ~ 平成24年度					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 80,000コマ ・古文書データベース 28,000点		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 100,000コマ ・古文書データベース 20,000点		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 200,000コマ		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 100,000コマ ・デジタル化 200,000コマ		
成果 (できたこと)		大量の資料のマイクロフィルム撮影、紙焼きを行うことで、古文書の保存につながり、また一般に公開できるよう整備することができた。								
課題 (できなかったこと)		緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施しているが、マイクロフィルム化およびデジタル化が済んでいない資料も多い。今後も継続してマイクロフィルム化を進めていく必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標		マイクロ撮影、紙焼き(コマ)		80,000	100,000	200,000	100,000			
成果指標										
他市との比較検証		愛知県 県史編さんに伴う資料のマイクロフィルム化								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		14,700	17,220	26,250	30,451	合計	26,250,000 円		
	財源	特定財源	14,700	17,220	22,550	30,451	委託料	26,250,000 円		
		一般財源	0	0	3,700	0				
	職員人件費 ②		0	1,450	14	749				
	総事業費(①+②)		14,700	18,670	26,264	31,200				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
		23年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金(県)				
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	1					作成者	小田 啓一郎		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	創作・発表の機会づくり							
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先代がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。				主たる内容	○無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成22年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
				・9月12日 愛知県民俗芸能大会知多大会 (野田雨乞笠おどり保存会) ・2月6日 愛知県民俗芸能大会刈谷大会 (万燈保存会)		・10月30日 催事名：第26回国民文化祭 開催地：京都府亀岡市 出演団体：万燈保存会		・9月17日 催事名：全国奴まつり 開催地：山形県河北町 出演団体：寺横町奴会		
成果 (できたこと)		全国規模の催し物である国民文化祭に参加したことで、刈谷市の無形民俗文化財を観客に広く披露し、刈谷市の民俗芸能に対する保存・伝承の理解と認識を深めることが出来た。								
課題 (できなかったこと)		披露する機会を継続的に確保する必要がある。								
指標名称(単位)				実績値		目標値				
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動 指標		無形民俗文化財の出演団体数(団体)			-	2	1	1	1	
成果 指標										
他市との 比較検証		・平成22年度民俗芸能大会に参加した市町村および参加回数。 刈谷市(2回)、名古屋市(1回)、常滑市(1回)、豊田市(2回)、知多市(1回)、豊山市(1回)、岡崎市(1回)、西尾市(1回) ・平成23年度開催の第26回国民文化祭「民俗芸能の祭典」には愛知県から刈谷市と犬山市の2市が参加。								
C 事業コスト		単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①	0	1,357	1,500	300	合計 1,500,000 円				
	財 源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 1,500,000 円			
		一般財源	0	1,357	1,500	300				
	職員人件費 ②	0	2,899	2,728	3,746					
	総事業費(①+②)	0	4,256	4,228	4,046					
	建設 事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2					作成者	西村 知余子		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図る。	主たる内容	○既存史跡の維持管理および剪定等の管理委託 ○「歴史の小径」、「椎の木屋敷跡」、「天誅組」などといったパンフレット等の改訂・印刷 ○文化財説明板の修繕 ○市文化財保護審議会委員の研修実施						
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（新潟市・長岡市）		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（府中市・松戸市他）		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（福山市・姫路市）		・椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（松江市を予定）		
成果 (できたこと)		・史跡の中を良好な状態に保つよう、適切な維持管理に努めた。 ・遠方の人でも自宅に居ながら入手できるようパンフレット類をPDF化し、ホームページ上で公開をはじめた。 ・文化財保護審議会委員の県外研修は、歴史博物館建設計画や亀城公園再整備計画の参考となる事例を先進市に学ぶためまた本市と歴史的につながりのある福山市の様子を文化財行政に反映させる機会として有益に実施された。								
課題 (できなかったこと)		・啓発の度合いを強めるとマップ等がすぐになくなってしまいうので、利用者に対し適切に活用してもらうよう依頼を行っているが十分であるとは言えない。在庫管理を徹底すると共に、紙質を替えるなど工夫する必要がある。 ・史跡管理は適切に実施するよう気をつけているが、地区や近隣住民との調整事項が発生することもあり、その対応をどのようにするかが常に苦慮する点である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
活動指標		史跡めぐりの開催（回）		3	3	3	3	3		
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（%）		—	35.9	—	38	40		
他市との比較検証		史跡や文化財を所有する自治体では同様の事業が行われているが、その規模、数、活用状況により管理の方法や経費が異なるため、一概に比較検討することは難しい。								
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		3,968	3,511	3,977	4,389	合計 3,976,812 円			
	財源	特定財源	10	10	3	16	旅費 107,810 円			
		一般財源	3,958	3,501	3,974	4,373	需用費 550,984 円			
	職員人件費 ②		0	725	718	749	役務費 23,538 円			
	総事業費 (①+②)		3,968	4,236	4,695	5,138	委託料 3,285,660 円			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		・行政財産目的外使用料 ・施設賠償責任保険金収入						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2					作成者	松本 育子		
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図る。	主たる内容	○小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を実施 ○小堤西池の水質・水位の継続した調査を実施 ○池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を委託 ○カキツバタ開花期の鑑賞者に対し、駐車場案内等の警備や案内の業務を委託 ○東側丘陵地の竹処理等の業務を委託 ○東側丘陵地のナラ枯れの被害拡大を防ぐため、被害木の伐採処理を委託						
	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画								
	根拠法令	文化財保護法								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	BDO実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		保存対策調査委員会開催 2回		保存対策調査委員会開催 2回		保存対策調査委員会開催 2回		保存対策調査委員会開催 2回		
水質調査 月1回		水質調査 月1回		水質調査 月1回		水質調査 月1回				
水位調査 月1回程度		水位調査 月1回程度		水位調査 月1回程度		水位調査 月1回程度				
除草、清掃作業 6日間		除草、清掃作業 9日間		除草、清掃作業 9日間		除草、清掃作業 8日間				
遺伝子解析		遺伝子解析		ナラ枯れ被害木処理 被害木11本		ナラ枯れ被害木処理 被害木19本				
成果 (できたこと)		・ナラ枯れ被害木11本(樹幹注入5本、伐採6本)の処理を行った。・9月の除草作業は、ボランティア参加を得て行った。 ・伐採竹木を約10トン、焼却処理を行った。 ・『小堤西池カキツバタ群落調査報告書ⅩⅢ』を作成し、関係各位への配布を行った。 ・守る会や一般鑑賞者の方から数年前と比較し、花が増えてきたという評判を得た。								
課題 (できなかったこと)		・池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が生長しており、増殖の速さが伐採作業の進展を上回っている。地下水の確保、水源の管理が課題。 ・ナラ枯れや松枯れなどにより、東側丘陵地の植生が刻々と変化している。今後どのような植生にしていくのが相応しいか、調査委員会との調整ができなかった。植生の管理が課題。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標	見学者数(人)		7,527	8,164	6,991	7,200	7,400			
成果指標	ボランティア参加数(人)		160	180	200	200	200			
他市との比較検証	・知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者(平成21～23年 15万～20万人) 保存会ボランティア参加数(平成21～23年 30人) ・豊橋市「葦毛湿原」見学者(平成21～23年 3万～5万人) 保存会ボランティア参加数(平成21～23年 70人)									
C事業コスト	単位:千円	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳				
	事業費①	5,528	5,769	5,666	5,916	合計	5,665,729円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	109,680円		
		一般財源	5,528	5,769	5,666	5,916	旅費	1,960円		
	職員人件費②	0	2,537	1,579	1,648	需用費	497,741円			
	総事業費(①+②)	5,528	8,306	7,245	7,564	委託料	5,056,348円			
	建設事業	全体事業費	0		23年度特定財源名称					
23年度迄の累積事業費		0								
25年度以降の事業費見込		0								

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	鶴飼 堅証	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため。	主たる内容	○臨時職員による出土遺物の整理、資料作成を実施。 ○試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財は、毎年の調査により増加している。これらを保存・活用していくため、遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、将来報告書を刊行して公開するための作業を行う。 ○また年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し資料調査に対応しやすくする。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・宮東第1号貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・宮東第1号貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・西石根8・9号窯出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・大西貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）	
成果 (できたこと)		緊急発掘調査を行った各遺跡とも、出土遺物の1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施できたため、市民や専門家の資料調査に対応できるようになった。							
課題 (できなかったこと)		2次整理（接合・復元・実測）まで作業を進め、報告書等の形で公開・活用する形には至っていないため、計画的に検討する必要がある。埋蔵文化財の対応件数は年度ごとにばらつきがあるがおおむね増加の傾向にあり、出土遺物も増加している。また平成21年度末に郷土資料館から資料館分室（城町図書館内）に移動した資料もあり、収蔵スペースの確保が急務になっている。							
他市との比較検証		他市も緊急調査件数には差があるが、基本的に1次整理までは年度内に完了しているようである。調査の規模・予算にもよるが、発掘調査を民間業者に委託するケースでは、1次整理まで含める場合もある。また2次整理以降の作業及び報告書の刊行までを民間業者に委託して実施するケースもある。							
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①	3,521	3,504	3,371	3,889	合計	3,370,852 円		
	財源	特定財源	36	32	153	68	賃金	3,271,760 円	
		一般財源	3,485	3,472	3,218	3,821	旅費	1,880 円	
	職員人件費 ②	0	725	718	749	需用費	97,212 円		
	総事業費 (①+②)	3,521	4,229	4,089	4,638				
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入 冊子等頒布収入					
25年度以降の事業費見込		0							



会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	西村 知余子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶ機会を提供するとともに、「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」の活動を支援する	主たる内容	○史跡めぐりの開催 ○小中学校等に対するガイドボランティア派遣 ○郷土資料館での体験学習案内補助（説明） ○個人および団体依頼者への史跡案内					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・史跡めぐり案内（年3回：井ヶ谷、高津波・小山、小垣江コース） ・小学4年生体験学習での案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・郷土資料館案内補助		・史跡めぐり案内（年3回：東海道、まちなか、重原コース） ・小学4年生体験学習での案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・ガイドボランティア養成講座実施		・史跡めぐり案内（年3回：野田・半城土、刈谷城址周辺、鎌倉街道コース） ・小学4年生体験学習での案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 ・郷土資料館案内補助及びオープンイベント補助		・史跡めぐり案内（年3回予定：高須・小垣江、高津波・小山、築地・恩田コース） ・小学4年生体験学習での案内、説明 ・一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣 ・郷土資料館案内補助 ・創立10周年記念行事開催	
成果（できたこと）		・事業は、刈谷の文化財や歴史を学ぶ機会として特に中高年に対し市内外で広く認知されており、史跡めぐりには予定人数を超える多くの参加者があった。 ・コース設定を工夫したり、歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、事務局が相談にのる以外にも個人で積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは毎回好評を博すことができた。							
課題（できなかったこと）		・会員の高齢化が問題となってきている。今後は何年かに一度など定期的にガイドボランティア養成講座を実施することにより、新たな会員の開拓と育成を目指す必要がある。 ・一般申込によるガイド依頼数がほぼ横ばいなので、今以上に活動の幅を広げ実績を積み上げていくために、今後は観光面とのタイアップを考える必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		31	30	25	30	35	
成果指標		史跡めぐり参加者（人）		175	224	220	150	150	
他市との比較検証		・にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 ・安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 ・知立観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 ・高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施（県観光協会HPより）							
C 事業コスト		単位：千円		21年度（決算）	22年度（決算）	23年度（決算）	24年度（予算）	23年度事業費内訳	
	事業費 ①		183	170	181	182	合計	181,038 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	18,038 円	
		一般財源	183	170	181	182	委託料	163,000 円	
	職員人件費 ②		0	1,812	1,543	1,686			
	総事業費（①+②）		183	1,982	1,724	1,868			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	松本 育子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	依佐美送信所記念館および展示機器等の広報・啓発を図る。		主たる内容	○依佐美送信所記念館における機器説明等、館内案内を担うボランティアの学習の支援、活動機会の提供、市の事業との連携を図る。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度 ~				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・依佐美送信所記念館パンフレット作成 ・ガイドボランティア委託 ・入館者数 38,899人 ・ボランティアガイド 134件 3,998人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 31,699人 ・ボランティアガイド 127件 3,025人		・依佐美送信所記念館パンフレット増刷 ・ガイドボランティア委託 ・入館者数 21,945人 ・ボランティアガイド 101件 2,429人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 約30,000人 ・ボランティアガイド約100件 約3,000人	
成果 (できたこと)		第5回電気技術の顕彰制度「でんきの礎」の授与理由として、「多くのガイドボランティアの方の活躍は技術継承活動としても他の模範となるものです」と顕彰状に明記され、日頃のガイド事業が評価された。							
課題 (できなかったこと)		ガイドボランティアとしては、平成23年12月26日から平成24年3月30日まで改修工事のため休館したことで、ガイド活動ができなかった。 市の事業としては、改修工事のため休館したことで、活動機会の提供の実施数を下げるようになった。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標	ボランティア数(人)		37	39	44	46	48		
成果指標	ガイド参加数(人)		3,998	3,025	2,429	3,000	3,200		
他市との比較検証	豊田市「豊田市近代の産業とくらし発見館」 ボランティア数(人)(平成22年 15・平成23年 15) ガイド参加数(人)(平成22年 360・平成23年 400)								
C 事業コスト V	単位:千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		217	100	239	100	合計	238,600円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	138,600円	
		一般財源	217	100	239	100	委託料	100,000円	
	職員人件費②		0	0	1,436	1,798			
	総事業費(①+②)		217	100	1,675	1,898			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷偉人伝作成事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2					作成者	西村 知余子		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	刈谷市にゆかりのある人物を広く内外に紹介し、顕彰する。 また、幅広い年齢層の来場が見込まれる歴史博物館(計画中)での活用や、小中学生の歴史教材としてなど、様々な分野で刈谷市の歴史文化や魅力をPRする。			主たる内容	○年次計画に沿って刈谷の偉人6人(水野勝成、於大、天誅組、豊田佐吉・喜一郎親子、加藤与五郎、森銃三・三郎兄弟)をアニメにより映像化 ○アニメおよび実写による約20分で構成し、媒体はDVDとする。 ○DVDは200本作成、そのうち約150本を一般頒布用とする。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画 根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成20年度 ~ 平成26年度				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画		
		・第1作目『維新の魁 天誅組』作成。		・第2作目『初代刈谷藩主 水野勝成物語』作成。 ・第1作目の頒布開始。		・第3作目『フェライトの父 加藤与五郎物語』作成。 ・第2作目の頒布開始。		・第4作目『書誌学者森銃三・童話作家森三郎』(仮称)制作中。 ・第3作目の頒布開始。 ・第1作目の再版。		
		成果(できたこと)	・総合式典で市民に公開するなど刈谷の偉人を市民に広く紹介するとともに、市内の小中学校等に寄贈した。 ・庁舎や総合文化センターなど集客のある施設やYou Tubeでダイジェスト版を放映したり、チラシを市内施設に置き市民の認知度を高めるなど、PRする機会を増やしたことで市内だけでなく市外からの問合せも増えた。 ・22年度に頒布を開始した第1作目が完売した。							
課題(できなかったこと)		・シナリオ作成の段階で関係者に確認・了承を得るようにしているが、歴史観が異なったり史実の確認があいまいだったりする場合、どのような対処を取るか、その対応に苦慮している。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度			
成果指標		総頒布部数(部)		-	77	137	180	300		
成果指標		DVDが会議等で活用・刈谷のPRに活用された数(件)		-	2	11	20	35		
他市との比較検証		郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法・レベル・作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』								
C 事業コスト		単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳		
	事業費①		5,985	5,985	5,985	6,778	合計	5,985,000円		
	財源	特定財源	0	56	263	300	委託料	5,985,000円		
		一般財源	5,985	5,929	5,722	6,478				
	職員人件費②		0	3,262	1,795	1,873				
	総事業費(①+②)		5,985	9,247	7,780	8,651				
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入						
25年度以降の事業費見込		0								

会計名		出土遺物デジタルトレース作業委託事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	課等長名	渡部 高幸	
10	5					2	作成者	鶴飼 堅証	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため		主たる内容	○市内の遺跡から出土した遺物の実測図をデジタルトレースする。方眼紙に鉛筆で描かれた遺物の実測図をスキャナーで読み取り、描画ソフトを用いてパソコン上でデジタルトレースすることで、デジタルデータとしての遺物図面を作成する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成21年度 ~ 平成23年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・出土遺物1,200点のデジタルトレースを実施		・出土遺物600点のデジタルトレースを実施		・出土遺物600点のデジタルトレースを実施		_____	
成果 (できたこと)		遺跡の報告書作成に向けてのトレース作業が効率よく進んだ。それと同時にアナログの紙媒体による記録保存だけでなく、デジタルデータとしても保存することができた。また将来的に実施するデジタル記録の公開に向けたデータソースを得ることができた。							
課題 (できなかったこと)		本事業は平成23年度までの緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施するものであるため、24年度以降は事業として実施しないが、今後は他の文化財データとともに、デジタルミュージアムの構築など、公開方法を検討する必要がある。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
活動指標		デジタルトレース点数(点)		1,200	600	600	0	0	
成果指標									
他市との比較検証		他市においても、緊急雇用創出事業基金事業として、同様の事業が民間業者委託で実施されている。							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		3,717	2,562	2,562	0	合計	2,562,000 円	
	財源	特定財源	3,717	2,562	2,139	0	委託料	2,562,000 円	
		一般財源	0	0	423	0			
	職員人件費 ②		0	725	0	0			
	総事業費(①+②)		3,717	3,287	2,562	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金(県)					
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			村上文庫デジタル化委託事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		課等長名	渡部 高幸
10	5	2		作成者	長澤 慎二

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	歴史・文化財			
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用			
	目的	村上文庫のマイクロフィルムからデジタル化を行い、パソコンで閲覧できるようにするなど、活用の幅を広げる。同時に原本とマイクロフィルムの保存をはかる。	主たる内容	○村上文庫をスキャンし、デジタル画像として新たに保存するとともに、パソコン上で容易に閲覧できるようにする。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令				
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成22年度 ~ 平成23年度	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
_____	・フィルム検査、リスト作成 2,172本分 ・マイクロフィルム再撮影 250本×500コマ ・村上文庫デジタル化 500コマ×1,000本	・村上文庫デジタル化 500コマ×1,250本	_____

成果 (できたこと)	平成22年度、23年度に緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施した。平成24年度中の公開に向けて、デジタル化の作業を開始した。				
課題 (できなかったこと)					

指標名称 (単位)	実績値			目標値	
	21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標 完成度 (%)	-	45	55	-	-
成果指標					

他市との比較検証	名古屋市蓬左文庫においても類似の事業を実施。				
----------	------------------------	--	--	--	--

単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①	0	48,300	63,000	0	合計	63,000,000 円
財源	特定財源	0	48,300	54,206	0	委託料	63,000,000 円
	一般財源	0	0	8,794	0		
職員人件費 ②	0	725	366	0			
総事業費 ((①)+(②))	0	49,025	63,366	0			
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0	緊急雇用創出事業基金事業費補助金 (県)			
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部	生涯学習部
一般会計							担当課	文化振興課
款	項	目					課等長名	渡部 高幸
10	5	2					作成者	松本 育子
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用					
	目的	市指定文化財の保護・保存のため。		主たる内容	○小垣江山車保存会が所蔵する市指定有形民俗文化財「小垣江の山車」の車輪の損耗が著しいので、修復する事業費を補助した。			
	位置づけ	関連計画						
	根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
	対象者				事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画
						・「小垣江の山車」の修復費の3分の2を補助した		
成果 (できたこと)		・計画どおりに、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定有形民俗文化財の「小垣江の山車」の修復費の3分の2の金額を補助できた。						
課題 (できなかったこと)		・山車の車輪の耐久年度が明確ではないため、再びいつ車輪が損耗するか不明である。						
指標名称(単位)			実績値			目標値		
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標	修復進捗率(%)		0	0	100	—	—	
成果指標	山車の曳き回し回数(回)		2	2	2	—	—	
他市との比較検証	・豊田市(平成21年2回・平成22年2回・平成23年2回)							
C 事業コスト	単位：千円		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(予算)	23年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	1,400	111	合計 1,400,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,400,000円	
		一般財源	0	0	1,400	111		
	職員人件費②		0	0	0	0		
	総事業費(①+②)		0	0	1,400	111		
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称		
23年度迄の累積事業費		0						
25年度以降の事業費見込		0						

会計名			備品整備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	長澤 慎二	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	デジタルカメラによって資料等の撮影をすることによって、利便性を図るとともに経費の削減を行う。			主たる内容	〇市内外における資料の調査・整理を行うための、デジタル一眼レフカメラの購入。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	平成23年度 ~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		_____		_____		資料を調査するための、一眼レフカメラの購入		_____	
成果 (できたこと)		これまでのフィルムカメラに比べ、簡単に撮影することが可能となり管理がしやすくなった。また、フィルムの現像料が不要になるとともに、プリント量も減らし、経費削減につながった。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称 (単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証	文化財をデジタル化し、保存管理することは、全国的な流れであり、多くの地方公共団体で、デジタル一眼レフカメラによる調査・整理が行われている。								
C 事業コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	80	0	合計	79,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費	79,800 円	
		一般財源	0	0	80	0			
	職員人件費 ②		0	0	14	0			
	総事業費 ((①+②))		0	0	94	0			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			調査報告書作成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	松本 育子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	小堤西池のカキツバタ群落の保護の意義や重要性に対する理解を深めるための普及、啓発のため。			主たる内容	○小堤西池のカキツバタ群落保存対策調査委員会に原稿執筆を依頼し、調査報告書を発行した。(3年に一度発行)			
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
						・報告書 400部作成 (執筆者、守る会：約130部、 役所内部、県内図書館等： 約120部、保存分100部等)			
成果 (できたこと)		・小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員の協力により、池の植生調査や東側丘陵地森林内の固定調査地における調査などの継続調査結果を掲載することができた。 ・平成23年度当初に実施したナラ枯被害木処理の現状変更及び伐採作業の報告ができた。							
課題 (できなかったこと)		・国会図書館や県内図書館、執筆者等には報告書を配布できたが、今後はカキツバタ群落保護における活動の重要性を市民が気軽に認識できるよう、配布先を検討する必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動指標		報告書原稿等の掲載数(本)			0	0	8	0	0
成果指標		カキツバタ群落の保護、保全活動に興味を持っている市民の割合(%)			34	35.9	37	38	39
他市との比較検証		・豊田市「豊田の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合(%)」 (平成21年度：40.9% 平成23年度：40%) ・一宮市「伝統や文化を伝承していこうと思う市民の割合(%)」 (平成21年度：46.4% 平成23年度：49%)							
C 事業コスト		単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費①		0	0	393	0	合計	392,700円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	136,500円	
		一般財源	0	0	393	0	需用費	256,200円	
	職員人件費②		0	0	3,589	0			
	総事業費(①+②)		0	0	3,982	0			
	建設事業	全体事業費			0	23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費			0						
25年度以降の事業費見込			0						



会計名			加藤与五郎生家跡整備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	松本 育子	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	加藤与五郎生家跡について再整備をする。	主たる内容	加藤与五郎生家跡の形状変更に伴い外周部の植栽移植等の整備を行った。また、全体面積が縮小することに伴い、広場面積を確保するため、植栽の移植、整地などを実施する。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
			根拠法令						
		対象者		事業期間	~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
						加藤与五郎生家跡弛の植栽移植及び整地等整備			
成果 (できたこと)		加藤与五郎生家跡弛の形状変更に即した植栽の移植や新規の植栽もでき、歴史的場所としての価値を高めることができた。							
課題 (できなかったこと)									
指標名称(単位)				実績値			目標値		
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
成果 指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合(%)			34.0	35.9	37.0	-	-
成果 指標									
他市との 比較検証		・豊田市「豊田の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合(%)」 (平成21年度:40.9% 平成23年度:40%) ・一宮市「伝統や文化を伝承していこうと思う市民の割合(%)」 (平成21年度:46.4% 平成23年度:49%)							
C 事業 コスト		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,494	0	合計	3,494,400 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	3,494,400 円	
		一般財源	0	0	3,494	0			
	職員人件費 ②		0	0	2,871	0			
	総事業費(①+②)		0	0	6,365	0			
建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称				
	23年度迄の累積事業費		0						
	25年度以降の事業費見込		0						

会計名			依佐美送信所記念館改修事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		課等長名	渡部 高幸
10	5	2		作成者	松本 育子

PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	歴史・文化財			
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用			
	目的		主たる内容	○塗装が剥落している送信機器類の再塗装を行った。 ○紫外線等からの悪影響を防ぐために館内の窓、天窓にガラスフィルム（UVカット、熱線遮蔽）を設置した。 ○記念館屋外内で表示している解説パネルについて、追加訂正等が必要なパネルを再制作した。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令				
		対象者		事業期間	平成23年度 ~ 平成23年度	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画			
B 事業 D 実績	成果 (できたこと)	・剥落が激しかった展示物の送信機器の塗装を、ドイツから輸送された昭和3年当時の塗装色の黒色に復元し、重厚さを備えた美しい塗装に改善できた。 ・天窓も含め、館内のすべてのガラスにUVフィルムを設置することができ、紫外線等による劣化を防止できた。 ・退色劣化のあった館内外の解説パネル等に訂正を加え、貼替えをすることで来館者が見やすい状態に改善できた。						
	課題 (できなかったこと)	・送信機器の外側は、塗装をしておいたことで改善できたが、機器内部は修繕や清掃を行うことができなかった。 ・バリオメータ型高周波コイル等のコイル被膜の損傷を改善できなかった。						
	指標名称（単位）			実績値	目標値			
活動指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（%）			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
成果指標				34	35.9	37	-	-
他市との比較検証	・豊田市「豊田の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市民の割合（%）」 （平成21年度：40.9% 平成23年度：40%）							

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
C 事業 コスト	事業費 ①	0	0	14,355	0	合計	14,354,550 円
	財源	特定財源	0	0	0	委託料	620,550 円
		一般財源	0	0	14,355	0	工事請負費
	職員人件費 ②	0	0	1,436	0		
総事業費 (①+②)		0	0	15,791	0		
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0				
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			中条遺跡発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	鶴飼 堅証	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため。	主たる内容	○土地区画整理事業計画に先駆けて平成9～12年度に実施した中条遺跡の発掘調査で出土した遺物および調査記録を整理・保存し報告書を作成することにより、刈谷市域の歴史解明の一助とする。 ○作業は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託。発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行う。 ○平成13年度以降は室内整理作業のみ。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成9年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	DO 実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・平成11年度分復元作業 ・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業		・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業		・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業 ・製塩土器実測作業 ・遺物観察表作成作業			
成果 (できたこと)		各年度ごとに作業手順を決め、着実に資料化を進めることができた。							
課題 (できなかったこと)		刈谷の古代・中世に関する新資料が多くあるため、報告書刊行により早期に公開する必要があるが、出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。また一部の遺物保管場所が作業場所と離れていることや作業スペースが狭いことから効率が悪くなっている。							
他市との比較検証		整理作業から報告書作成までにかかる期間はおおむね発掘調査にかかった期間が目安とされてきたが、他市においても発掘調査の規模、出土遺物の量により差がある。近年では発掘調査だけでなく、遺物整理作業及び報告書作成まで民間業者に委託することで、報告書刊行までの期間を短縮するケースが増加してきている。							
C コスト	単位：千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳			
	事業費 ①	5,000	5,000	5,000	5,000	合計	5,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,000,000 円	
		一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000			
	職員人件費 ②	0	725	718	749				
	総事業費 (①+②)	5,000	5,725	5,718	5,749				
	建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称				
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		課等長名	渡部 高幸
10	5	2		作成者	鶴飼 堅証

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	歴史・文化財			
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用			
	目的	埋蔵文化財の保護・保存のため。		主たる内容	○埋蔵文化財の専門知識をもつ臨時職員（文化財調査員）を雇用して緊急対応を行うとともに、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。	
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	位置づけ	根拠法令	文化財保護法			
	対象者	開発事業者及び市民		事業期間	平成13年度～	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

		21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画			
B D O 実績	成果 (できたこと)	直営による試掘調査および開発事業者への埋蔵文化財の取扱い説明・指導については、迅速に行うことができた。事前の試掘調査について積極的に事業者へ協力依頼し、遺跡の有無確認・範囲特定を行ったことにより、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合いを捉えることができ、発掘調査あるいは工事立会など適正な対応を行うことができた。緊急発掘調査は事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行うことができた。						
	課題 (できなかったこと)	緊急発掘調査が多数生じた場合、年度予算内で対応できない状況が起こりうるため、各調査において相当のコスト削減や調査期間短縮を行っているが、通常の発掘調査に比べて必要最小限の記録になり、ややもすると調査精度の低下につながりかねず、改善の余地がある。民間の審査機関へ建築確認申請されたものは、市建築課へ事後報告されてから庁内回覧されるため、文化財への対応ができていないものがあり、事業者や審査機関への手続きの周知を強化する必要がある。						
		指標名称（単位）			実績値		目標値	
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度
活動指標	窓口照会件数（件）	469	604	701	600	650		
成果指標	対応率（%） = (b+c+d) / (b+c+d+e)	26.3	37.1	29.2	30	35		
他市との比較検証	その年の窓口照会件数や緊急対応件数及び事業予算は市によってやや差がある。他市においても民間審査機関への確認申請により埋蔵文化財の取扱い手続きから漏れたものへの対応については苦慮している。県レベルでの取り組みが必要。							

単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
C 事業 コスト	事業費 ①	181	3,127	3,274	3,276	合計	3,273,940 円
	財源	特定財源	0	0	0	賃金	2,473,940 円
		一般財源	181	3,127	3,274	委託料	800,000 円
	職員人件費 ②		0	1,087	1,436	1,498	
総事業費 (①+②)		181	4,214	4,710	4,774		
建設事業	全体事業費		0	23年度特定財源名称			
	23年度迄の累積事業費		0				
	25年度以降の事業費見込		0				

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	6					作成者	西村 知余子	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を図るため。	主たる内容	○都市施設管理協会への指定管理料支払事務 ○国の登録文化財である建物の管理全般 ○館内で企画されるイベントの実施等					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		・指定管理者制度実施 ・企画展「絵はがきで訪ねる、明治・大正・昭和の刈谷」「歴史を物語る懐かしの機械展」「はた織り同好会作品展」「收藏品展」実施		・指定管理者再指定 ・改修工事（一年間休館）		・指定管理者制度実施 ・常設展示リニューアル ・月4回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施		・指定管理者制度実施 ・月3回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施	
成果 (できたこと)		・リニューアルオープン後は、常設展示を利用したイベントや昭和30年代の家庭風景、教室の再現を始めた結果、特に懐かしさを求めた高齢者に対して好評を博し、入館者数が約1.6倍（平成21年度比）に増えた。 ・今までは夏休みしか体験する機会がなかったはた織りを、毎週末できるよう常設にしたところ、「昔のくらし体験」学習を終えた小学生を中心に、伝統文化に触れる機会として人気を博した。 ・子供向けイベントの内容が偏ってしまい、年度後半は人集めに苦慮した。							
課題 (できなかったこと)		・身近なところで伝統文化に触れることができることを、恒常的にもっとPRし、もっと広く一般にも知っていただく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			21年度	22年度	23年度	24年度	26年度		
	成果指標	総入館者数(22年度は郷土資料館分室の入館者数のみ/人)	8,372	970	13,462	13,500	14,500		
成果指標	はた織り等イベント参加者数(人)	—	—	1,111	1,200	1,400			
	他市との比較検証	昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館 ・北名古屋歴史民俗資料館 ・岡崎市岡崎むかし館 ・東郷町いこまい館							
C コスト	単位：千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳		
	事業費 ①		14,281	2,322	17,053	18,390	合計	17,052,814 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	55,344 円	
		一般財源	14,281	2,322	17,053	18,390	委託料	16,997,470 円	
	職員人件費 ②		0	1,087	1,802	757			
	総事業費(①+②)		14,281	3,409	18,855	19,147			
	建設事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							

会計名		文化振興事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	課等長名	渡部 高幸	
10	5					13	作成者	西川 瑛輔	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民の芸術文化意識の向上並びに文化芸術創造の拠点として、文化事業を開催することで市内外に情報発信を図る。		主たる内容	刈谷市総合文化センターにおいて、各種文化普及・鑑賞事業を開催し、文化芸術作品を鑑賞する機会を提供する。また、文化事業を企画・運営する市民スタッフを育成する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度計画	
		_____		_____		15事業(有料14事業・無料1事業)を実施、入場者延16,680人 ・大ホール利用 502回 131,434人 ・小ホール利用 393回 35,044人 ・リハーサル室1利用 292回 11,599人 ・リハーサル室2利用 512回 12,165人		20事業を実施予定	
成果 (できたこと)		大ホールでの自主事業として、「一青 窈 Tour 2011 類づえ」(6月4日)、「人形劇俳優たいらじょうの世界 オズの魔法使い」(7月18日)、「京都市交響楽団NHK大河ドラマテーマ曲×新世界」(10月16日)などの大型事業として実施できた。市民スタッフの育成事業の成果として、「タップ ステップ ジャンプ」の公演を実施できた。							
課題 (できなかったこと)		自主事業の告知準備期間が十分に取れず、宣伝材料が準備できていない状況でチケット販売を始めた事業があった。チケット販売システムを使う際、先行販売の案内連絡に不備が生じたり、チケットの引き取りに遅滞が生じる等のトラブルがあった。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				21年度	22年度	23年度	24年度	26年度	
活動 指標		入場者数(人)			—	—	16,680	17,000	17,500
成果 指標		大ホール稼働率(%)			—	—	61.3	62	62.5
他市との 比較検証		文化施設等にて、管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体 (県内)一宮市、常滑市、江南市、尾張旭市 (県外)東京都八王子市、兵庫県三田市・明石市、広島県三原市など							
C 事業 コスト		単位:千円		21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (予算)	23年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	25,740	24,879	合計	25,740,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	委託料	25,740,000 円	
		一般財源	0	0	25,740	24,879			
	職員人件費 ②		0	0	7,537	8,991			
	総事業費(①+②)		0	0	33,277	33,870			
	建設 事業	全体事業費		0		23年度特定財源名称			
23年度迄の累積事業費		0							
25年度以降の事業費見込		0							